

Tokuyama College		Year	2022	Course Title	Art of Calligraphy
Course Information					
Course Code	0024		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Seminar		Credits	School Credit: 2	
Department	Department of Computer Science and Electronic Engineering		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	教育図書 書道I				
Instructor	Kikuchi Yuma, Yamamoto Shin				
Course Objectives					
楷書・行書・篆書・仮名の基礎と漢字かな交じり書の習得					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	基本を十分に意識して創作することができる。		基本を意識して創作することができる。		左記に達していない。
Assigned Department Objectives					
到達目標 C 2					
Teaching Method					
Outline	書を愛好し、書写能力を高め、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、学習意欲を高める。書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かに自分の表現へと発展させる。				
Style	中国の古典、日本の古筆の臨書を通して、基本的な結構、用筆法を身につける。多様な書を鑑賞、揮毫することで、書体の変遷を経て、今日に至っているかを理解し、創作へと発展させる。				
Notice	<p>評価法： 毎回作品を提出し、採点をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物を期限内に出すこと（40）</li> <li>・「期日に間に合わなかった場合は一日につき-5点とする」</li> <li>・提出物は授業で取り扱った内容の理解、技術をみて評価とする。（30）</li> </ul> <p>（30） 書に対する関心、授業内容を理解しようとする意欲、授業時の姿勢・態度など総合的に評価する。</p> <p>最終成績（100点）＝提出物の提出期限遵守（40点）＋提出物の技術的評価点（30点）＋書に対する関心・意欲・態度（10点＋10点＋10点）</p>				
Characteristics of Class / Division in Learning					
<input type="checkbox"/> Active Learning		<input type="checkbox"/> Aided by ICT		<input type="checkbox"/> Applicable to Remote Class	
				<input type="checkbox"/> Instructor Professionally Experienced	
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	<p>【前期】</p> <p>書写と書道の違いについて</p> <p>楷書の時代的背景の理解と、用筆、運筆法の理解</p> <p>①九成宮醴泉銘 ②雁塔聖教序 ③牛欄造像記</p> <p>④孔子廟堂碑 ⑤顔氏家廟碑より</p> <p>2点選択臨書</p> <p>行書の成立との理解と、王羲之の書道史における位置、用筆、運筆法の理解</p> <p>蘭亭序</p> <p>中国地方高校生書道大会出品作品制作</p>		
		2nd	王羲之 蘭亭序		
		3rd	王羲之 蘭亭序 2		
		4th	王羲之 蘭亭序より二字選択		
		5th	王羲之 蘭亭序より一字創作		
		6th	楷書 九成宮醴泉銘		
		7th	楷書 九成宮醴泉銘 2		
		8th	雁塔聖教序		
	2nd Quarter	9th	雁塔聖教序 2		
		10th	自習		
		11th	牛欄造像記		
		12th	楷書と行書の時代的背景と共に違いを認識する		
		13th	中国地方高校生書道大会出品作品 練習		
		14th	中国地方高校生書道大会出品作品 清書		
		15th	篆刻 印僞を作る		
		16th	篆刻 実際に彫る		

2nd Semester	3rd Quarter	1st	<p>【後期】  風信帖 日本の書における空海の歴史的意義と臨書  ・篆刻 篆刻2点制作のため、篆書の説明と篆刻作品鑑賞  名前の篆書体を確認すると共に、デザイン構成を思考。  ・仮名文字 仮名の流麗美の原理と、変体仮名、和様体を理解する  基本線（いろは歌・連綿 高野切3種）  ・山口県高校生書道大会作品制作  ・書初め 念頭の所感を漢字一字で、揮毫  ・漢字仮名交じりの書（作品制作）作品を提示し、作風の変遷とその表現の多様性を認識させ、近代詩文書に対する興味と関心を喚起  ・今の自分を漢字仮名交じりの書で表現する。  落款・展示・批正</p>	
		2nd	篆刻	
		3rd	篆刻 完成	
		4th	風信帖 山口県高等学校書道展	
		5th	風信帖 山口県高等学校書道展 完成	
		6th	仮名の基本を学ぶ	
		7th	仮名の連綿	
		8th	仮名のちらし書き	
	4th Quarter	9th	仮名文字で和歌を書く	
		10th	仮名文字で和歌を書く 2	
		11th	年賀状を書く	
		12th	創作	
		13th	創作	
		14th	創作	
		15th	創作	
		16th	創作	

Evaluation Method and Weight (%)

	提出作品	関心	意欲	態度	Total
Subtotal	70	10	10	10	100
基礎的能力	70	10	10	10	100